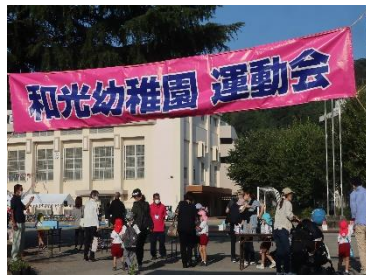


この子らと

令和3年11月

まことの保育



鹿児島竜谷学園和光幼稚園



園長 川口公男



ベストを尽くした子どもたち

本年度もコロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながらの開催でした。運動会は連綿と受け継がれてきた家族総出で楽しむ行事です。

それだけに人数制限を何人にするかでなく人数制限をどこまで緩和できるかということに思考をシフトして検討し、感染者数の推移等総合的に判断して「人数制限なし」と結論を出しました。

鹿児島市の運動会翌日の17日(日)以降19日の1人を除いて感染者0が続いております。

なお、通常は、ウイルスに感染してから4日・5日後に症状が現れると言われております。まれに2週間後に現れる人もあるということです。(10月30日が運動会翌日から2週間後にあたります。)

最もよくある症状は、「発熱・から咳・倦怠感」です。

「人は人の一生懸命に心を動かされる」子どもたちの一生懸命、保護者のみなさまの一生懸命、職員の一生懸命、感動させられた運動会でした。

遊具による事故防止

「10月14日午前10時10分頃、岡山市の保育園で、同園に通う男児2歳児が遊具の隙間に首が挟まった状態になっているのを保育士が見つけた。病院に搬送されたが、意識不明の重体である。」という事故が発生しております。

本園としましてもこの事故を自園のこととして受け止めて、「保護者の皆さまから大切なお子様の命をお預かりしている」との認識をさらに強くして事故防止に万全を期してまいります。

【本園の遊具の事故防止策】



設置前後に業者と十分に打ち合わせて防止策を設置しました。なお、①②③は園独自の設置です。

閑話

もし、友達が重い荷物を持っていたら、もし仲間があやまった道を歩んでいるのに気づいたら・・・肩をたたいて、声をかけてみようよ。暗い世の中が明るく輝くかもしれない。(グレン・キャンベル)

「思いやりの心」は生きていくともしびですね。
「秋の暮れ 道にしゃがんで子が一人」(高浜虚子)



12/4日、「発表会」お楽しみに!!

--	--

--	--